


# かいきょうげ【開經偈】

 2023-11-29(水) 更新

むじょうじんじんみみょうの ほう は、  
無上甚深微妙の法は、  
ひゃくせんまんごうにも あ いたてまつるこ と がた し。  
百千万劫にも遭い奉ること難し。  
われいまけんもん し、 じゅじ する こと を え た り。  
我今見聞し、受持する事を得たり。  
ねが わ く は によらい の だいいち ぎ を げ せん。  
願わくは如来の第一義を解せん。  
し ごく の だいじょうし ぎ す べ か ら ず  
至極の大乗思議すべからず  
けんもんそくち、 みな ぼ だい に ちか づ く。  
見聞觸知、皆菩提に近づく。  
のうせん は ほうしん、 しょせん は ほうしん、  
能詮は報身、所詮は法身、  
しきそう の もんじ は、 すなわち これ おうじん な り。  
色相の文字は、即ち是れ応身なり。  
むりょうの くどく、 みな こ のきょうに あつ ま れ り。  
無量の功德、皆是の經に集まれり。  
このゆえ に じ ぎい にみょうに くん じ、 みつ に やく す。  
是故に自在に冥に薰じ、密に益す。  
う ち む ち つみ を めっ し ぜん をしょうず。  
有智無智罪を滅し善を生ず。  
も し は しん、 も し は ほう、 と も に ぶつどう をじょうず。  
若しは信、若しは謗、共に仏道を成ず。  
さん ぜ の しょぶつ、 じんじん のみょうでんな り。  
三世の諸仏、甚深の妙典なり。  
しょうじょうせせ、 ち ぐ しちょうだいせ せん。  
生々世々、値遇し頂戴せん。